

「売買契約」を知っていますか？

年 組 番 名前

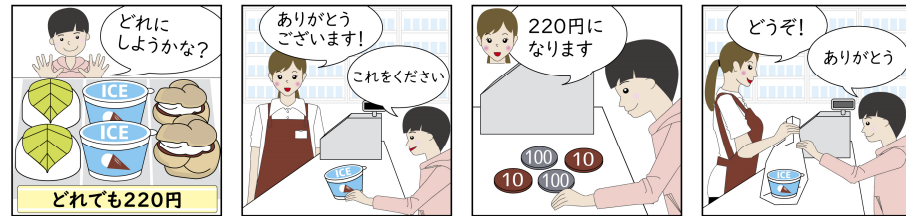
(1) 売買契約の説明文について、①～③の()の中にあてはまる言葉を書きましょう。

買う人が、ある物を(①)、売る人が承諾して、おたがいの意思が合ったときに、売買契約が成立します。売買契約が成立すると、おたがいに責任(義務)が発生します。買う人の義務は(②)、売る人の義務は(③)です。契約が成立する前は、何を、いくらで、誰から買うのか、調べて、考えて、自由に選ぶことができますが、いったん契約が成立したら、勝手に契約をなかったことにすることはできません。

(2) 動画を思い出しながら、次の【A】と【B】の質問の答えを考えてみましょう。

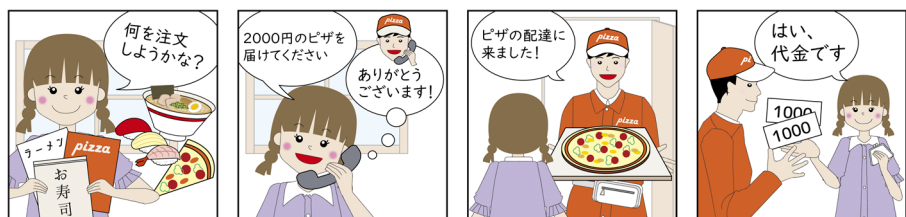
【A】 売買契約が成立したのはいつか、あてはまる場面の記号に○をつけましょう。

①菓子の購入



(a) (b) (c) (d)

②宅配の注文



(a) (b) (c) (d)

【B】 次の①②の買い物について、売買契約が成立したのはいつか説明してみましょう。

①コンビニやスーパーのレジで買い物をするとき

ショウタ



買い物をするときは、黙って商品をレジに置いて、いちいち「これください」って言わないよね。

ユイ



店員さんも黙ってバーコードの読み取りをするけれど、いつ、売買契約が成立するのかな？

(あなたの考え)

ヒント: お客と店員の会話が無いとき、「申し込み」と「承諾」に該当することは何だろうか。

②スマホのアプリで宅配の注文をするとき

ダイキ



スマホのアプリで宅配の注文をするときは、店員さんと会話しないで、画面をポチっとするだけなんだけど。

サクラ



インターネットの買い物もそうだね。こんなときは、いつ、売買契約が成立するのかな？

(あなたの考え)

ヒント: 画面の操作だけかしないとき、「申し込み」と「承諾」に該当することは何だろうか。

(3) 売買契約が成立するのはいつなのか、なぜ、考えないといけないのでしょうか。その理由を説明してみましょう。

(あなたの考え)

ヒント: 売買契約が成立する前と後で、買い物をする人にできること、しなければならないことがどう違うかに注意して考えてみましょう。

【司法書士からのアドバイス】

みなさんが、これから身近な生活の場面で様々な買い物をする際に、消費者としてどのように考え、行動すれば良いのかを考えていくときに、最も基礎となる知識の一つが、「売買契約」の仕組みです。特に、「売買契約はいつ成立するのか」が分かることは重要で、このワークには、そのヒントとなる質問をたくさん掲載しています。みんなで考えて、チャレンジしてみてください。

おとなの人たちは、売買契約の他にも、電気・ガス・水道などを使う、電車に乗る、家を借りる、給料をもらって働くなど、様々な契約をしながら暮らしています。おとなになれば、自動車や家のようなとても高額な売買契約をする機会もあるかもしれません。将来、そういう難しい契約をするときにも、このワークで学習したように、「契約はいつ成立するのか」を見分けられることが、必ず役に立ちますよ。

